

鍼から、お灸から、 あなたのための響きを。

鍼灸師 稲吉紘大さん

(しんきゅうし いなよし こうだい)

鍼灸&リラクゼーションサロン

いこいの 院長

1月12日生まれ やぎ座 A型

尊敬する人: 両親

座右の銘: 案ずるより産むが易し

「始める前はあれこれ心配するものだが
実際にやってみると案外たやすくでき
るものだというたとえ」

人生に影響を与えた、、、

本: 未来記憶

映画: ペイ・フォワード



今回は、鍼灸に情熱を注いでいる「鍼灸&リラクゼーションサロンいこいの」院長である、鍼灸師・稲吉紘大さんにインタビュー。鍼灸師の魅力や素晴らしさ、今将来に不安を抱いている学生へのメッセージを伺いました。

仕事内容・学生時代

肉体と精神は比例して反応がでる

鍼灸師という職業は、鍼とお灸を使って患者さんの体の痛みを取ることが仕事です。しかし、ただ施術をしていけばいいだけではありません。東京に限らず、現代社会で疲れを多くためていらっしゃる方を心身ともに癒すことが本来の目的です。人間の肉体は精神と比例して反応が出ています。日常生活で感じているストレスをごまかして、痛みに変換し、変換したことによって嫌なことを忘れようとしているのです。この肉体だけでは読み取ることのできない精神的な面のフォローを心がけて取り組んでいます。

また、日々の生活よりリラックスしていただきたいので、癒しの時間や空間を演出して提供することも仕事であり、鍼灸師にとって大切です。

社会人経験者もいた学生生活は自分より目上の人と会話ができる魅力的な場所だった

鍼灸師になるためには高校を卒業して専門学校に入学する人がほとんどですが、社会人を経験してから来る人も多います。同世代だけではなく、幅広い年齢層の方と共に学ぶということは非常に魅力的でした。そして、この経験が鍼灸師としてのコミュニケーション能力が培われた原点であると今では感じています。

授業内容は主に座学と実技です。具体的に座学では解剖学を学び、骨格、筋肉、神経、内臓の機能やホルモン分泌などといった人間の体について学びます。これを理解した上で「どういった病気が起こることが考えられるのか」、「どういった検査をしなければならないのか」を学んでいきます。実技では鍼の刺し方を行います。鍼を刺す場所を把握していなければ、痛みを取り除くことはできません。体の仕組みを理解していないと効果は現れないということです。



エピソード



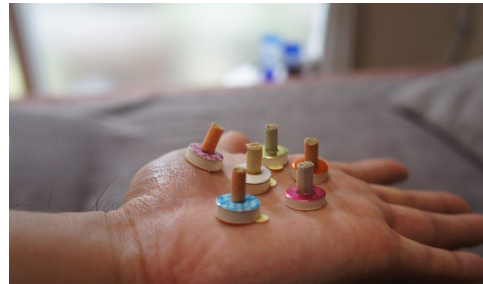
「すごく楽になった」「次もお願いしていい？」 この一言で頑張れる

鍼灸師になって最初に施術したのが60代くらいのおばあちゃんでした。初めての施術で緊張していて、手探りの部分がありましたが施術の後、「あっ、すごく楽になった。こんなに楽になるんだね。次もお願いしていい？」と言われたことが、とても嬉しかったです。初めての患者さんという事もありましたが、この言葉を聞くことができるなら頑張れるとその時感じました。



臨まれていることに応えていくことが自分の役目

今では自分のサロンを持つことが出来て、この先やりたいビジョンも見えていますが悔しかった経験もあります。鍼灸師になって2年目に、勤めとていたクリニックを自分の意にそぐわない形で辞めることになりました。その当時は悔しくて泣いたこともあります。しかし、この経験がなかったら今の自分はないと思うんです。この後に勤めた治療院で仕事を任せてもらい、多くの人に携わることができたおかげで、自分の腕を磨くことも出来ました。すると、「ここまでやってくれるの？」「鍼の印象が変わったよ」という言葉を頂き、躍進する原動力になっていきました。頼ってきてくれたということは何かしらの縁であるため、その思いに応えていくことが誰かのためになれていればいいと思います。



アドバイス



会話だけがコミュニケーションではない

患者さんの思いと痛みに応えるためには技術も大切ですがそれだけではありません。普段施術を行う時に身なりや話し方に気を付けています。落ち着いた話しかたは患者さんを不安にさせてしまいます。安心して治療が行えるよう、空間とのマッチングも影

響するため観葉植物を置き、音楽もリラックスできるように心がけています。

施術に来られる患者さんは始め緊張されています。そのような方にも寄り添えることが求められます。話し方や、力の入り具合、患者さんの細かい反応に気付ける人、対人関係が好きな人がこの仕事に向いているかもしれません。鍼灸師という職業は色んな選択をすることが出来る、可能性の

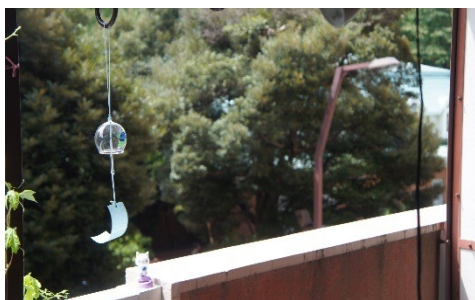
ある職業です。会話だけがコミュニケーションではありません。相手は人です。自分が心を開くことが重要です。

知らないことは損、知ることは革命

学生の皆さんは今知らないこと、分からない事がたくさんあると思います。私も学生の頃その一人でした。知らないと自分の中にある固定概念に縛られて選択肢が広がりません。社会人だけでなく友人に話も聞いて、自分と違う考え方を聞くことにより新しい世界が見えてきます。新しいことを知ることは革命です。学生の皆さんにはぜひ目指している職業や、知らない職業に触れていただきたいです。



また鍼灸師に限った話でいうと、学生の頃に実際の職場へ行き仕事内容・給与面・開業までの過程・プロになるまでの過程を実際働いている方に見せて頂くことが重要だと思えます。こういったことは学校の授業では教えてくれません。実際私も知らないことがあり、苦勞をした経験があります。知らないという事で損をしてしまうのはもったいないです。今では職業を知ることが出来る講座が増えています。そういった場にぜひ参加してみてください。



人の体、心に直接触れられることは特別なことである

私は実家が治療院という事もあり鍼灸師になりました。幼少期より父の背中を見て育ったためか鍼灸師になると決意したとき、父親を超えたいというハングリー精神がありました。また、人が好きであったため、幅広い年代の多い専門学校に行くことによって、その人たちに触れ合い自分の世界を広げたかったんです。そして、学んだことをどこまで広めることが出来るか挑戦してみたかったんです。多くの人の痛みを取り除き癒しを提供すること、広めることが使命だと思っています。



幼い頃から鍼灸に触れていなければこの職業に就いていなかったかもしれません。しかし、専門学校に入ったからには鍼のスペシャリストになりたいと思っていました。実際にやってみると鍼灸師は人の体と心に触れることが出来る特別な職業です。学生の皆さんも「案ずるより産むが易し」の言葉通り、初めは心配事もあるかもしれませんがまずは一歩踏み出してみてください。

鍼灸&リラクゼーションサロン
「いこいの」HP
<https://icoino0121.amebaownd.com>



編集後記

取材先のサロンは非常に落ち着いた場所で、稲吉さんが大切にしている「空間を演出することも仕事」という考えがあふれているような空間でした。そのため、こちらもリラックスしてお話を伺うことができました。

お話を伺って一番印象に残ったのが「地球は丸いよ」という言葉です。この言葉は稲吉さんのご友人の言葉だそうです。「自分が嫌なことをすれば人をつたって広がり、回りまわって自分に返ってくる」という意味だそうです。稲吉さんはこの言葉を聞いて「人をつたって、回りまわってくるなら良いことをしよう！」と思い、鍼灸を広めて人々を癒したいと思われたそうです。このお話を聞いて自分に良いことが返ってくるような生き方をしたいと感じました。

サロン同様穏やかな雰囲気の中に、九州男児の熱い思いが込められていて鍼灸の世界に引き込まれてしまいました。貴重なお話ありがとうございました。

取材日:2017年8月29日

目白大学社会学部メディア表現学科3年 浅香夏恋

